

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

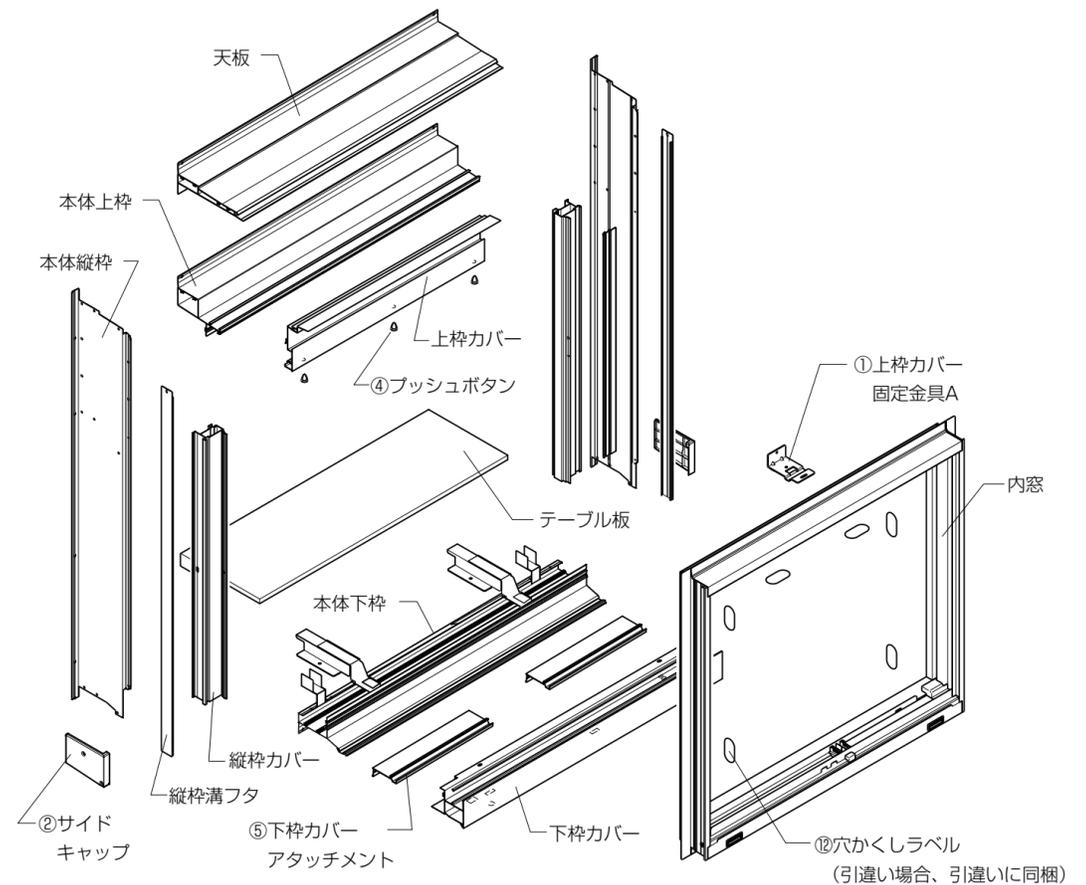
●雨漏りの原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。

- ・縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・本体上枠・本体下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。
- ・連窓方立が上枠カバーの穴位置にない場合、方立上部キャップは外さないでください。
- ・方立用シール材は、内窓上枠及び連窓方立の形状に合わせて張ってください。
- ・内窓縦枠が位置決めピースに当たっていることを確認してください。
- ・連窓セットを取付ける場合、排水のため連窓方立下部キャップに必ず穴あけ加工してください。

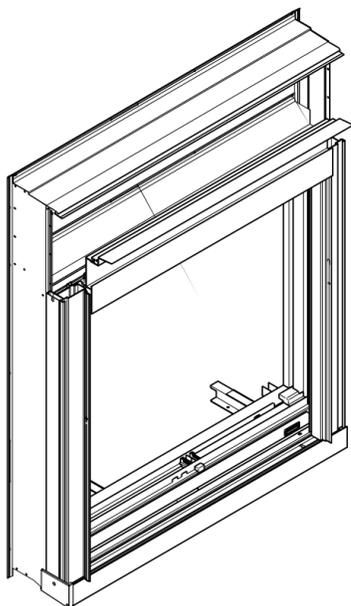
■組立て上のお願い

- 内窓は性能や仕様を選択していただくため、別売りとなっています。
- テーブル板は色柄及び形状(角型、ポストフォーム型)を選択していただくため、別売りとなっております。
- テーブル板に張ってある取付け説明書は、はがさないでください。
- 内窓の組立てについては、内窓に同梱の組立て説明書を確認してください。

■各部名称図

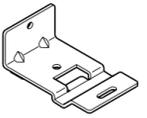
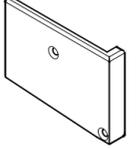
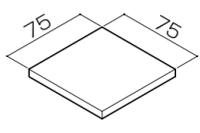
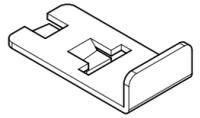


■姿図



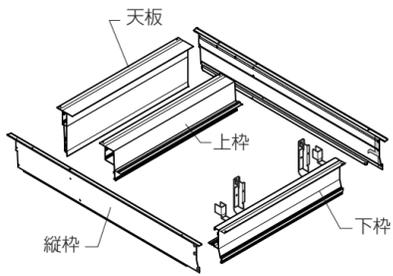
■組立て部品一覧表

※下表の番号は本文図中の番号を示します。間違いのないよう使用してください。

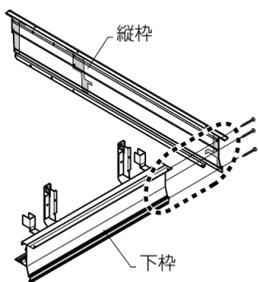
番号	①	②	③	④	⑤	⑥
名称	上枠カバー固定金具A	サイドキャップ	方立用シール材	プッシュボタン	下枠カバーアタッチメント	上枠カバー固定金具B
姿図						
使用箇所	上枠-上枠カバー	縦枠下部	方立上部(連窓のみ使用)	上枠カバー	内窓下枠-下枠カバー	上枠-上枠カバー
袋表示	表示なし		組立て用1		表示なし	
番号	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
名称	バインドタッピンねじφ4×30	ナベテクスねじφ3.5×19(色なし)	ナベテクスねじφ3.5×13(色付)	バインド小ねじM4×8	皿タッピンねじφ4×35	穴かくしラベル
姿図						
使用箇所	上枠-縦枠 下枠-縦枠 天板-縦枠溝フタ	内窓-本体 縦枠-縦枠カバー 上枠カバー-固定金具	下枠-下枠カバー	内窓上枠-上枠カバー固定金具 下枠カバー-下枠カバーアタッチメント	下枠-サイドキャップ	内窓上・縦枠(引違い窓のみ)
袋表示	組立て用2		カバー用	組立て用2	組立て用2	(内窓引違いに同梱)

■組立て順序

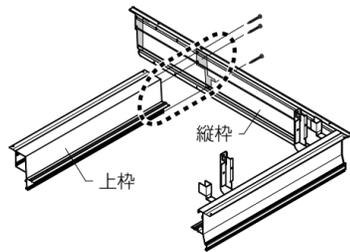
■1 本体上・下枠と縦枠の組立て



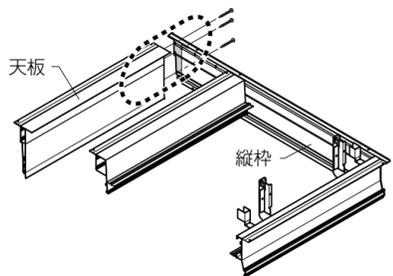
■1 縦枠と下枠の組立て



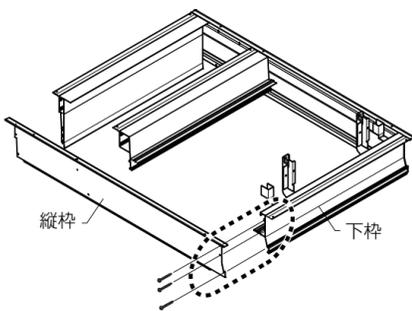
■2 縦枠と上枠の組立て



■3 縦枠と天板の組立て



■4 縦枠と下枠の組立て



■組立て詳細

■1 本体上・下枠と縦枠の組立て

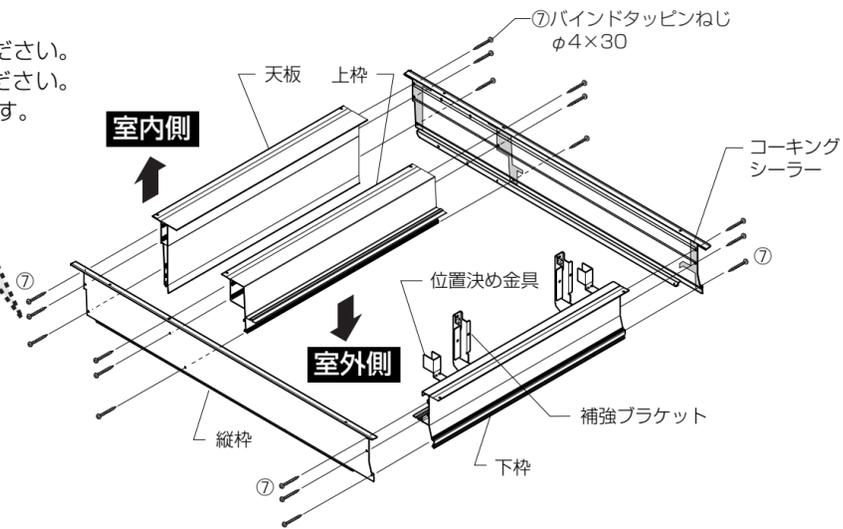
●各部材の室内側・室外側の向きを合わせ、ねじ止めしてください。
※ねじ止めの際は、補強ブラケットを上にして組立ててください。
補強ブラケット及び位置決め金具が変形するおそれがあります。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

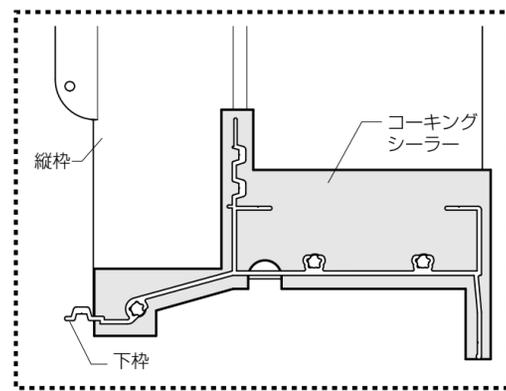
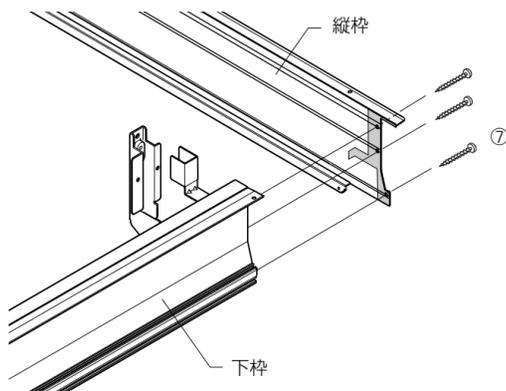
▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・本体上枠・本体下枠にはみ出すように合わせてから、すき間なくねじ止めしてください。



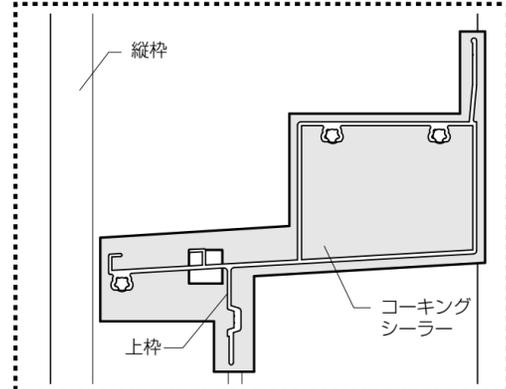
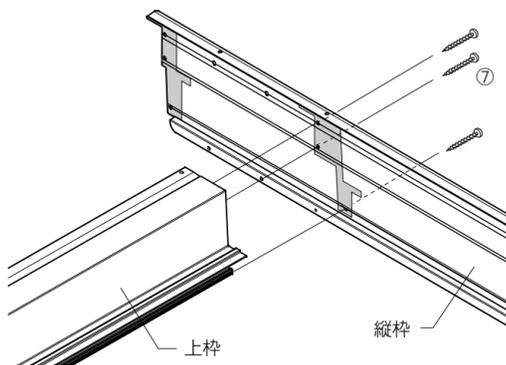
■1 縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度下枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。



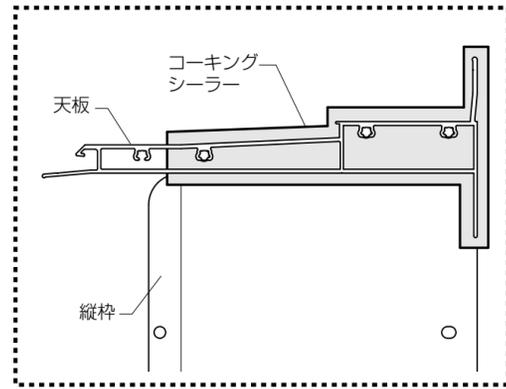
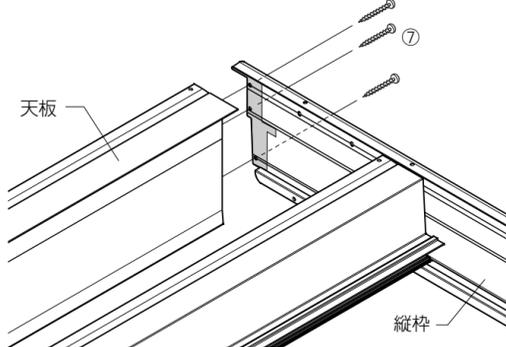
■2 縦枠と上枠の組立て

●縦枠と上枠の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度上枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。



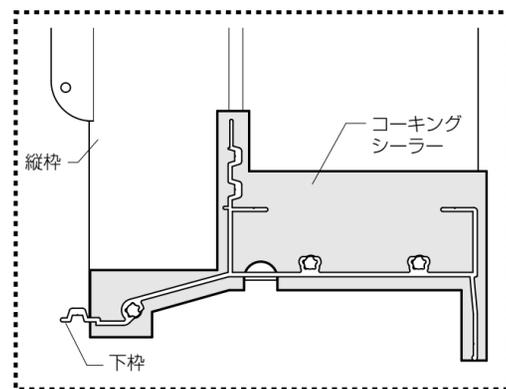
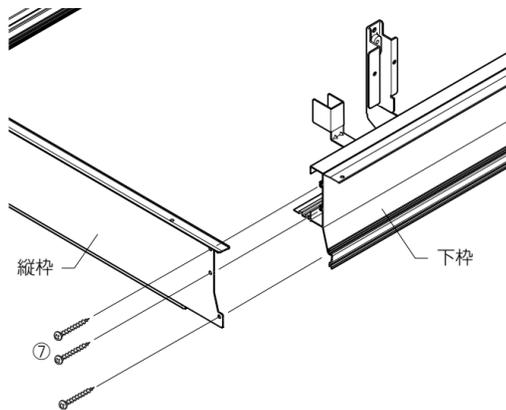
■3 縦枠と天板の組立て

●縦枠と天板の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度天板の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。

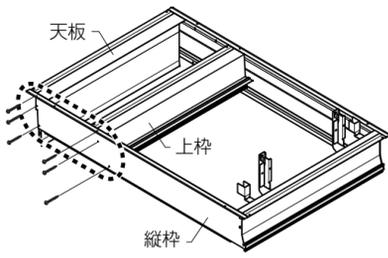


■4 縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度下枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。



⑤ 縦枠と上枠・天板の仮止め

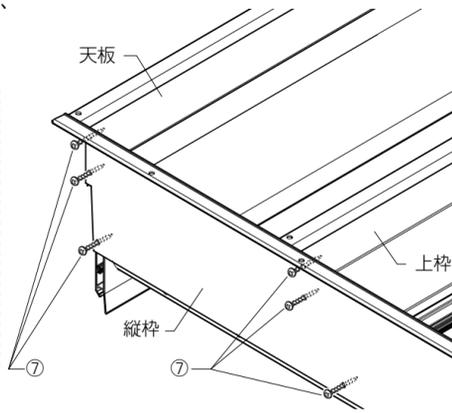


⑤ 縦枠と上枠・天板の仮止め

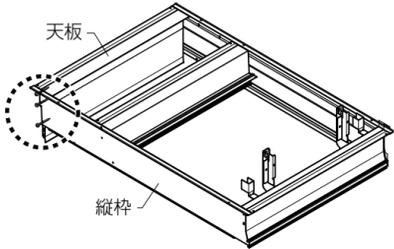
● 縦枠と上枠・天板の位置合わせをし、ねじの先端を差込み、2~3回転ほど締めて仮止めします。

▲ 注意

● 漏水の原因になるおそれがありますので、天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。

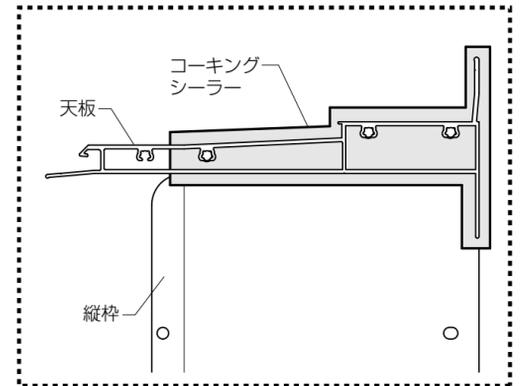
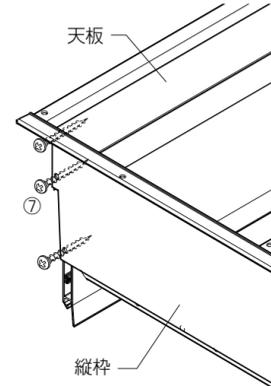


⑥ 縦枠と天板の固定

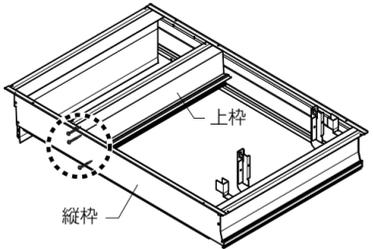


⑥ 縦枠と天板の固定

● 縦枠と天板の位置を右図のように合わせて、室内側のねじから順に固定します。

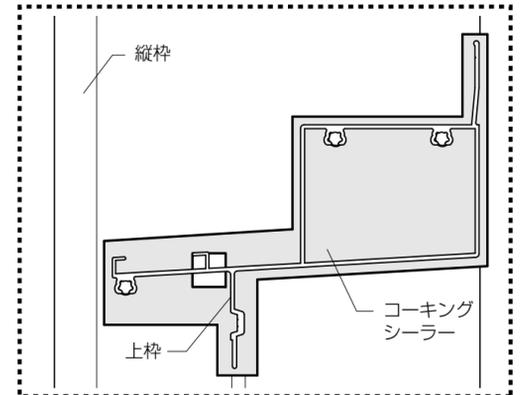
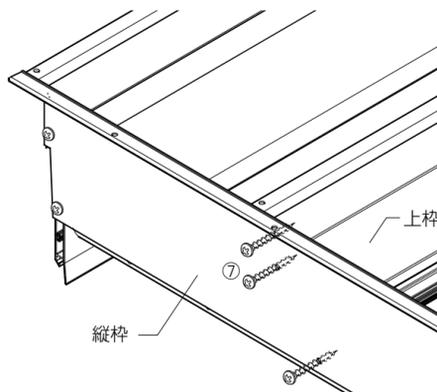


⑦ 縦枠と上枠の固定

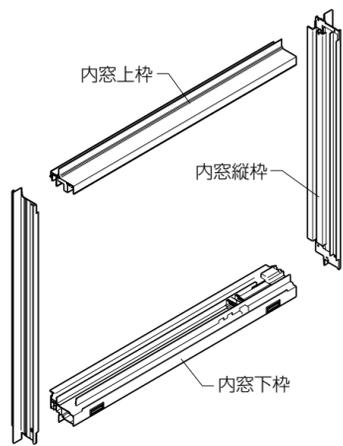


⑦ 縦枠と上枠の固定

● 縦枠と上枠の位置を右図のように合わせて、室内側のねじから順に固定します。



② 内窓の組立て

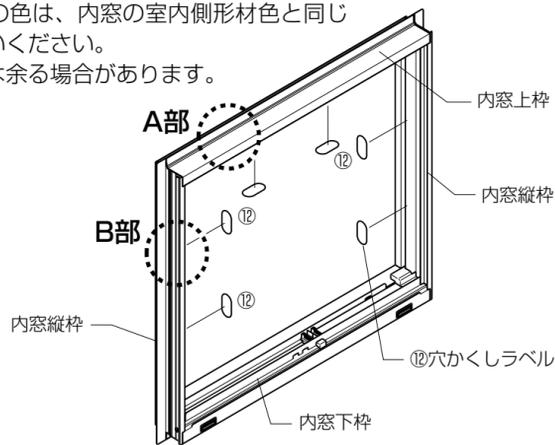


② 内窓の組立て

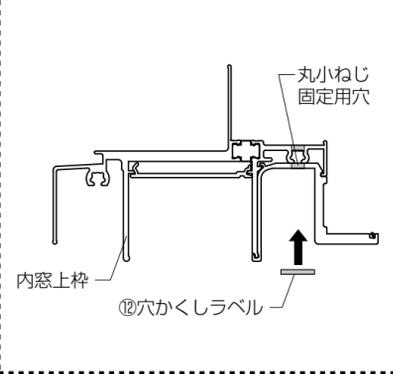
① 内窓に同梱の組立て説明書を参考にして組立てます。
 ※障子は組立てのみで、建込みは枠の取付け後に行います。
 ※組立てができなくなるおそれがあるため、内窓が連段窓の場合は製品が基本寸法通り組立てられているか確認してください。
 ※内窓のW出来寸法が正規の寸法に対して2mmをこえる場合、本体左縦枠の上下にある位置決めピースを外します。

(②は引違い窓の場合のみ行ってください。)

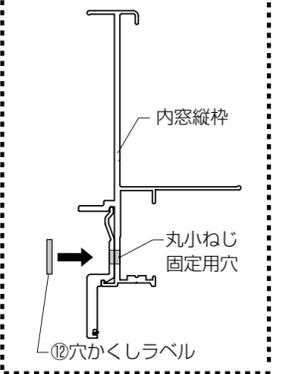
② 内窓縦枠及び上枠の丸小ねじ固定用穴をふさぎます。
 ※穴かかしラベルは、内窓引違いに同梱されています。
 ※穴かかしラベルの色は、内窓の室内側形材色と同じ色のものをお使いください。
 ※穴かかしラベルは余る場合があります。



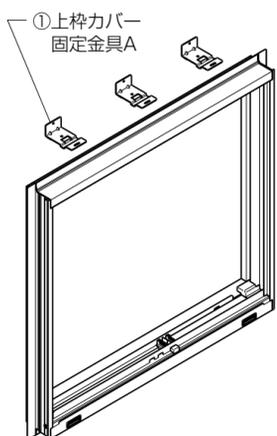
■ A部詳細図



■ B部詳細図

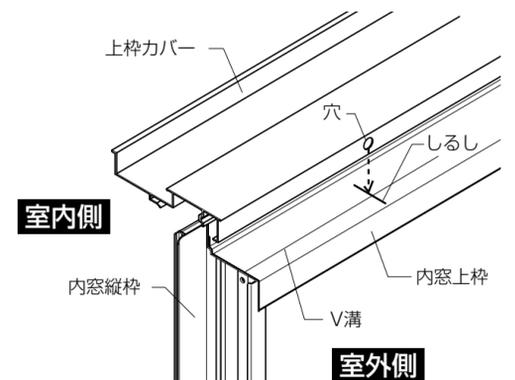
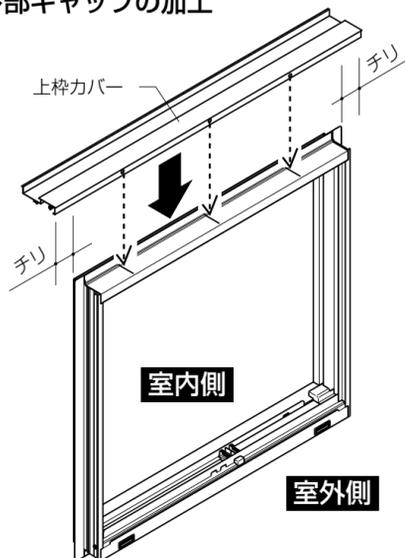


③ 上枠カバー固定金具Aの取付け・連窓下部キャップの加工



③ 上枠カバー固定金具Aの取付け・連窓下部キャップの加工

① 上枠カバー固定金具Aの位置決めをします。
 上枠カバーを内窓上枠の上に左右のチリを均等にのせ、上枠カバーの穴ピッチに合わせて内窓上枠上部にマジックなどでのしを付けます。
 ※チリを均等にしないと、上枠カバーを固定できないおそれがあります。
 ※連窓方立が上枠カバーの穴位置にある場合は不要です。

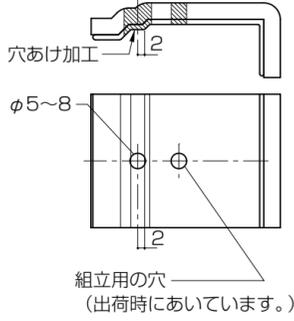


W寸法	729 ≤ W ≤ 1891	1891 < W
穴数	3	5

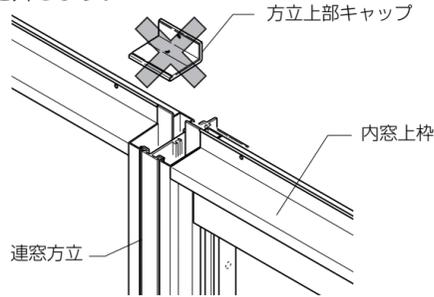
(②～④は連窓の場合のみ行ってください。)

②連窓下部キャップに下図のようにφ5～φ8程度の穴をあけてください。

▲注意
●連窓セットを取付ける場合、連窓下部キャップに必ず穴あけ加工してください。



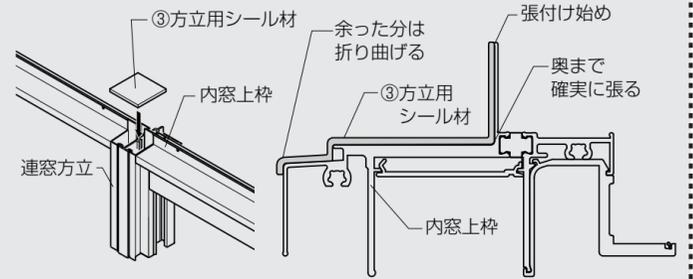
③連窓方立が上枠カバーの穴位置にある場合、方立上部キャップを外します。



④③で方立上部キャップを外した連窓方立上部に、左右のチリを均等にして方立用シール材を張ります。

※この場合、内窓枠の取付け時に上枠カバーの穴位置に上枠カバー固定金具Aを取付けます。

▲注意
●漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
・方立用シール材は、図のように内窓上枠及び連窓方立の形状に合わせて張ってください。

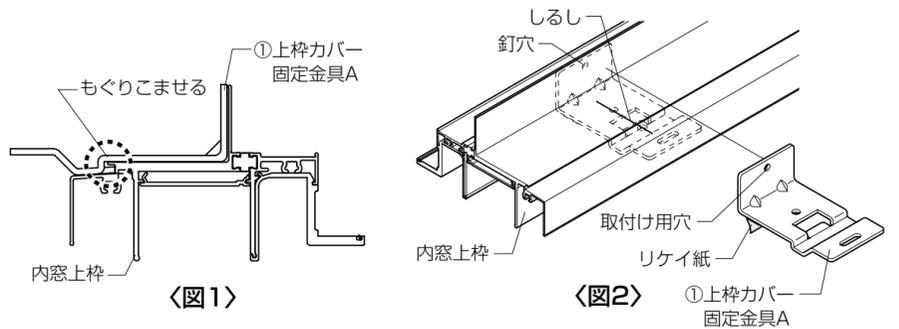


・連窓方立が上枠カバーの穴位置にない場合、方立上部キャップは外さないでください。

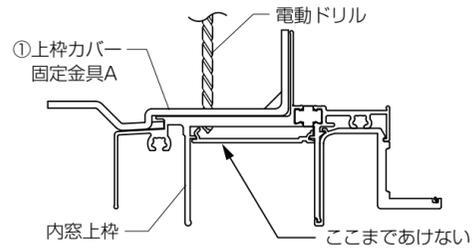
⑤上枠カバー固定金具Aの両面テープのリケイ紙をはがし、内窓上枠の突起にもぐりこませるように内窓上枠に張ります。〈図1〉、〈図2〉

※左右方向は、①のしるしが部品の中央に来るように位置決めします。〈図2〉

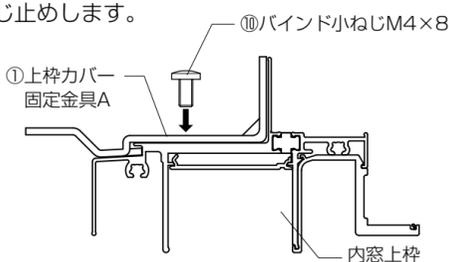
ただし、上枠カバー固定金具Aの取付け用穴から内窓の釘穴が見える場合は、内窓の釘穴で位置決めします。上下方向は、内窓上枠に押付けます。



⑥上枠カバー固定金具Aの穴をガイドにし、手で押さえて内窓上枠にφ3.4の穴を電動ドリルであけます。※内窓上枠がホローの場合、貫通しないようにします。

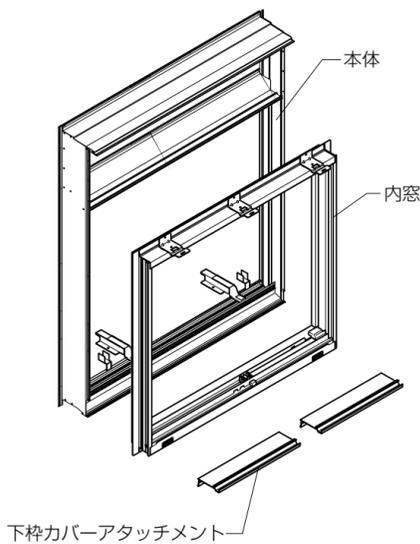


⑦上枠カバー固定金具Aをねじ止めします。



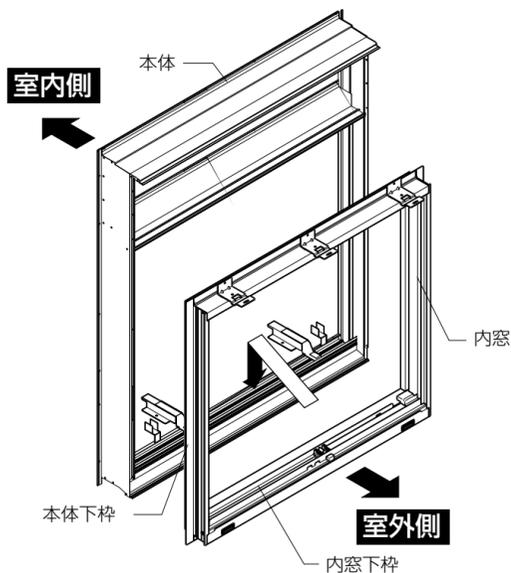
お願い
※バインド小ねじM4×8は手回しドライバーで固定してください。締過ぎると下穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。

4 内窓枠の取付け

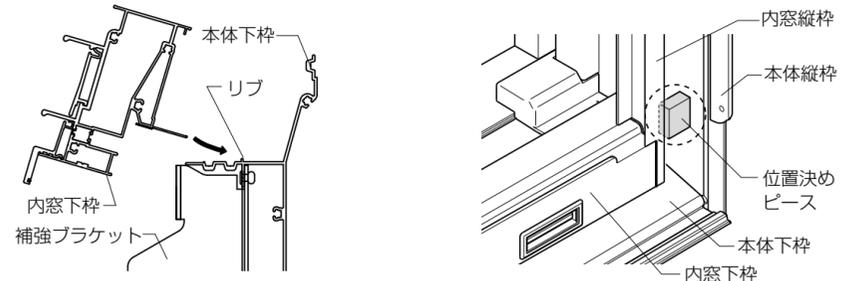


4 内窓枠の取付け

①本体枠を裏返します。
※補強ブラケット及び位置決め金具が作業台に当たらないように注意してください。

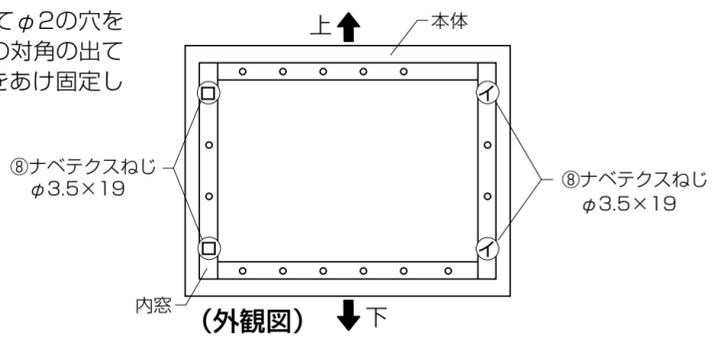


②内窓の下枠を斜めから本体下枠に滑り込ませ、上にのせます。
※必ず内窓下枠が補強ブラケットに当たっているか確認してください。
※補強ブラケットのないサイズの場合、型材のリブに当ててください。
※左右方向は、本体左縦枠にある位置決めピースに内窓縦枠を当てます。上下方向についても、それぞれ本体上下枠にある位置決めピースに、内窓上下枠が当たっていることを確認してください。ただし、内窓のW出来寸法が正規の寸法に対して2mmをこえる場合、位置決めピースを外して、本体縦枠と内窓縦枠の左右のチリを均等にします。



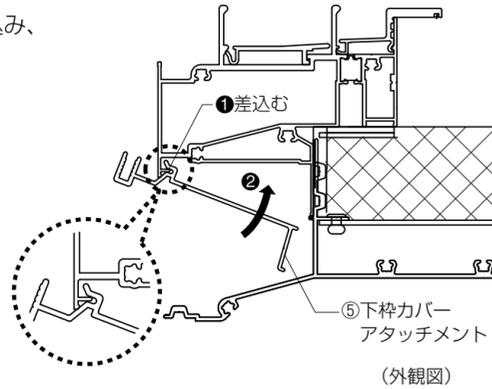
▲注意
●内窓縦枠が位置決めピースに当たっていることを確認してください。

③内窓を本体に仮止めします。
 ※ズレ防止のため、①の釘穴を利用してφ2の穴を電動ドリルであけ固定します。内窓の対角の出ていることを確認して、②にφ2の穴をあけ固定します。(対角寸法の差は2mm以内)



▲注意
 ●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩みがたつきのないことを確認してください。

④下枠カバーアタッチメントを内窓下枠に差込み、回転させて引っ掛けます。



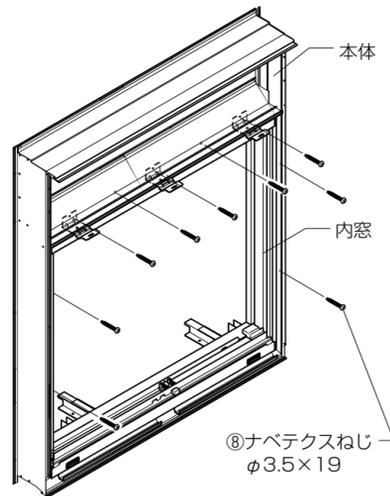
⑤下枠カバーアタッチメントをφ2の下穴をあけ、ねじ止めします。
 ※固定位置は右表を参考にして均等に配置し、ナベテクスねじφ3.5×19で固定します。

W	下枠カバーアタッチメント使用数	下枠カバーアタッチメント固定位置
114, 119, 128, 133	3	○ ○ ○
160, 165, 178, 183	4	○ ○ ○ ○
220, 233, 243, 256, 270, 283	5	○ ○ ○ ○ ○
165 TFT	4	○ ○ ○ ○
165 TFFT, 4T	4	○ ○ ○ ○
256, 270, 283 4T	5	○ ○ ○ ○ ○

方立 ○: 下枠カバーアタッチメントの穴

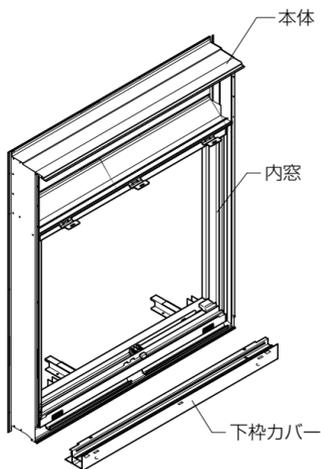
⑥内窓上枠・縦枠及び上枠カバー固定金具Aを固定します。
 ※連窓の場合で方立用シール材を使用する場合、上枠カバーの穴位置に上枠カバー固定金具Aを取付けます。
 ※内窓釘打ちフィンの穴位置でねじ止めします。
 ※上枠カバー固定金具Aは、部品の穴を利用してねじ止めします。
 ※ねじは余る場合があります。
 ※上枠カバー固定金具Aが全て止まっていることを確認してください。

お願い
 ※連段窓数が多い場合、釘穴数に対してねじ本数が足りない場合があります。ねじが足りない箇所についてはφ3.4のキリで穴あけ後、M4×12以上のバインド小ねじで固定してください。



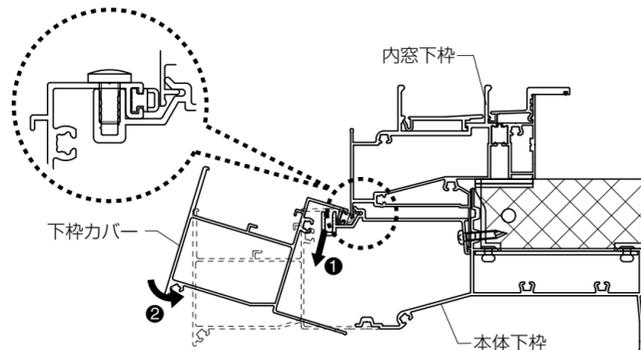
▲注意
 ●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩みがたつきのないことを確認してください。

5 下枠カバーの取付け

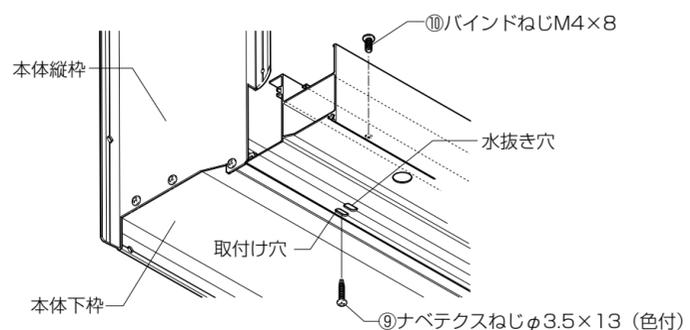


5 下枠カバーの取付け

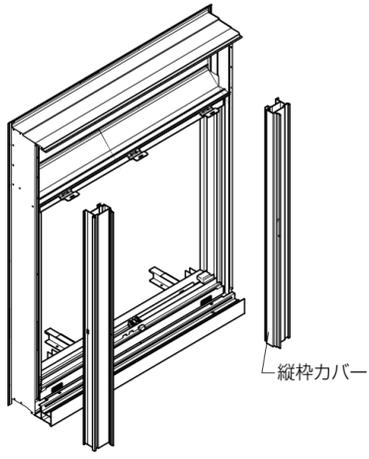
①下枠カバーの端を本体と合わせて、リップを下枠アタッチメントカバーの引っ掛けりに端からはめ込んで回転させ、本体下枠にかぶせます。



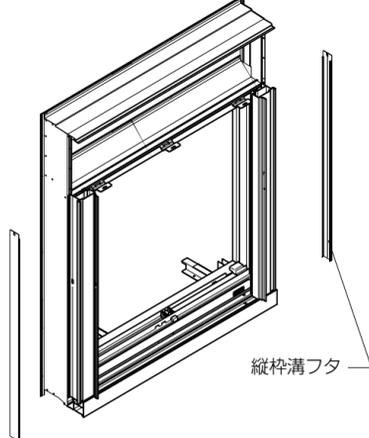
②左右のチリを合わせて、下枠カバーをバインドねじM4×8にてねじ止めします。下枠カバー下部の取付け穴をφ2のキリで穴あけ後、ナベテクスねじφ3.5×13にてねじ止めします。
 ※下枠カバーは長穴になっていますので、左右のチリが均一にならない場合は、一度緩めてチリを合わせて締直してください。



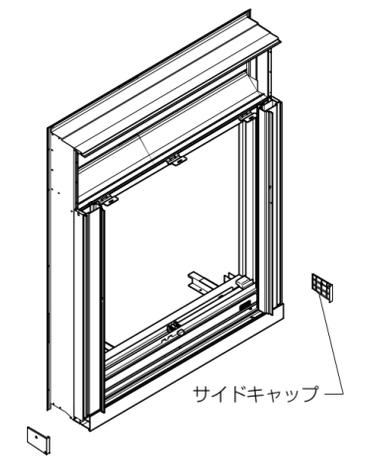
6 縦枠カバーの取付け



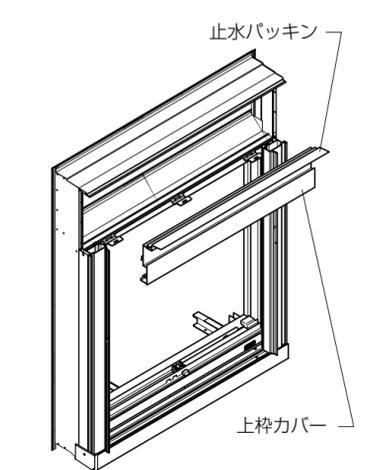
7 縦枠溝フタの取付け



8 サイドキャップの取付け

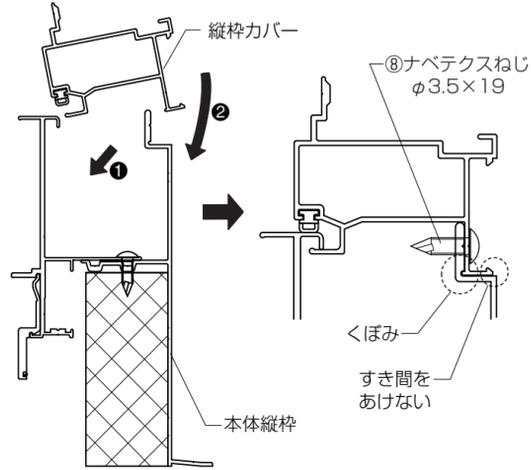


9 上枠カバーの取付け

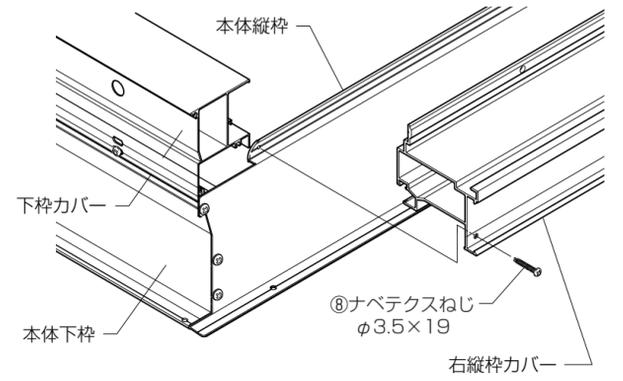


6 縦枠カバーの取付け

- 縦枠カバーを内容縦枠に引っ掛け、突起を縦枠カバー取付けフィンのくぼみに合わせてねじ止めします。
- ※上シールが張ってある縦枠カバーを上にして右縦枠カバーとして使用してください。
- ※縦枠カバーと本体縦枠にすき間ができないようにしてください。
- ※縦枠カバーを端から順番に押し込みながらはめ込み、下枠カバーに当てて上下方向の位置を合わせてねじ止めしてください。

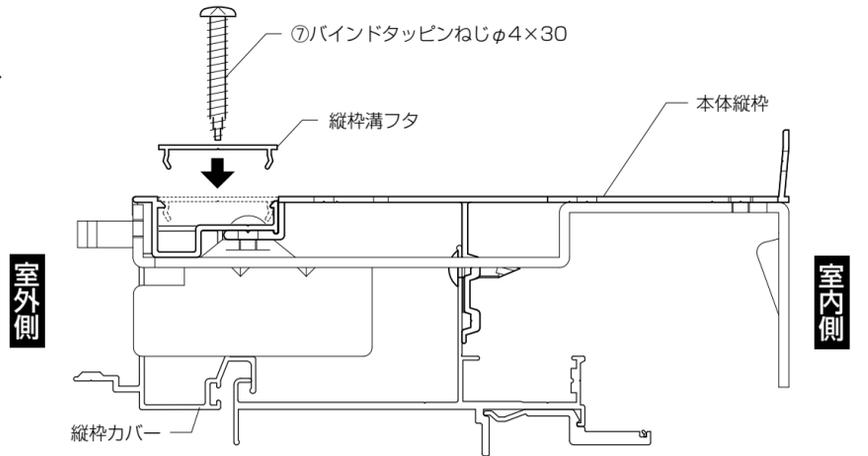


※上下方向は、下部サイドキャップに軽く当てます。



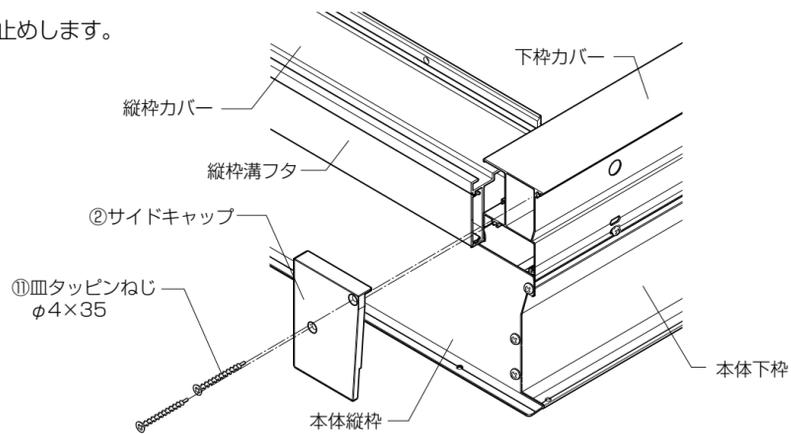
7 縦枠溝フタの取付け

- シーラーの張ってある方を上にし、天板の上面と縦枠溝フタの上端面を合わせてからねじ止めし、縦枠溝フタをはめ込んでください。
- ※はめ込みにくい時は、当て木してプラスチックハンマーでたたいてはめ込んでください。
- ※縦枠溝フタは、浮きがなく奥まで入っていることを確認してください。



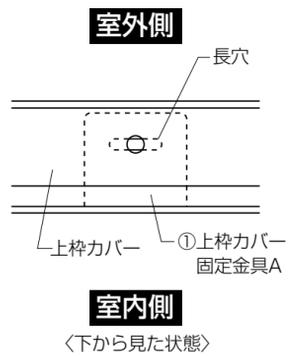
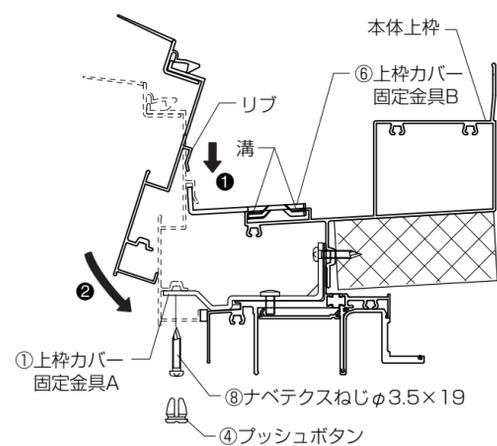
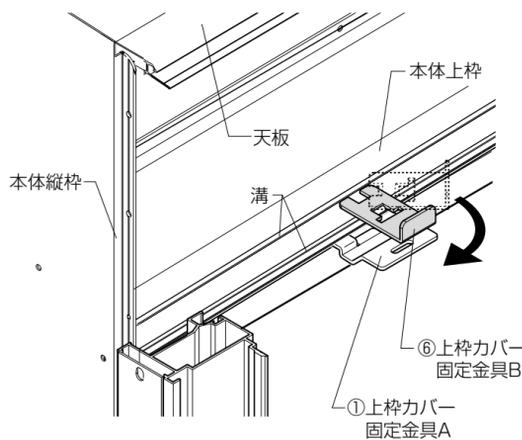
8 サイドキャップの取付け

- サイドキャップを下枠カバーにねじ止めします。



9 上枠カバーの取付け

- ①上枠カバー固定金具Bを、上枠カバー固定金具Aの位置に合わせて本体上枠の溝に入れ、時計回りに回して取付けてください。
- ②上枠カバーのリップを上枠カバー固定金具Bに引っ掛けてから回転させ、はめ込んでください。
- ③左右のチリを合わせて、上枠カバー固定金具Aの長穴を狙ってねじ止めします。
※上枠カバー固定金具Aは長穴になっていますので、左右のチリが均一にならない場合は一度緩めてチリを合わせて、同じねじ穴を使用してください。(チリは片側で最大1mm)
- ④上枠カバーにプッシュボタンを取付けます。
※止水パッキンが切断面とあっているか確認してください。
※はまり具合は目視又は直接金具にふれて確認してください。



組立て後の取扱いとお願い

- ※組立てた後、サッシ枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけると枠が変形するおそれがあります。
- ※移動する場合は立てたまま縦枠部分をしっかり支持し、重量の重い連窓の場合は方立部分も支持してください。

